



# 杉山たかのり

ニュース

市議会内 日本共産党市会議員団控室 Tel.35-3368

自宅 西宮市津門仁辺町5-21 Tel・Fax35-1682

団ホームページ <http://nishinomiya.jcp-giin.net/>ブログ・ツイッター [杉山たかのり](#) フェイスブック [杉山孝教](#) で検索を

## 9月定例会市議会一般質問 その①

# 防災訓練の米軍参加に異議あり！



9月8日、杉山たかのり議員は一般質問をしました。米軍参加の防災訓練、国保料引下げ、UR借上げ住宅の3項目について分けて要旨を掲載します。

米軍が参加した兵庫県・阪神合同防災訓練について8月31日、芦屋市海洋庁潮芦屋フリーゾーンで行われた兵庫県・阪神合同防災訓練に、在日米軍が参加しま

した。これは、米軍基地のない県でははじめてのことです。

防災訓練への米軍参加については、4月には新聞も報じており、日本共産党西宮市会議員団は、5月9日、当時の河野市長に対し、米軍参加の中止を兵庫県に求めるよう申し入れを行い、7月31日には阪神間の超党派の地方議員52人が連名で兵庫県知事、阪神7市長、1町長に、防災訓練への米軍参加に反対する申し入れを行いました。

当日、私も現地での抗議行動に参加しましたが、米軍ヘリ、ブラックホーク（裏面に写真）は塩芦屋フリーゾーンの南端に飛来し、自衛隊との連携による救援物資・重篤患者の搬送訓練を行い、約1時間で飛び去りました。

防災訓練への米軍参加に反対する理由は主に3点です。

第1に、人を殺すための軍隊は防災訓練に参加すべきではないからです。

日本に駐留する米軍は、海兵隊遠征軍、空母打撃群、遠征打撃群などは、日本を守るための軍隊ではなく、世界の紛争に真っ先に殴り込むことを任務とした部隊です。

第2に、米軍は災害時の備えにならないからです。在日米軍は、いつどこに展開しているか不明であり、災害時に、防災訓練に参加した部隊が支援する可能性は極めて低い。防災訓練は、災害時の備えとして日常に準備、訓練するものなのに、在日米軍では、いざという時の備えにならない、防災訓練には最も適さない機関だということです。

第3に、この防災訓練が在日米軍アレルギーを緩和させるための宣伝の場となってい

ることです。沖縄辺野古への米軍基地建設をはじめ日米同盟の強化と集団的自衛権行使による米国の戦争に自衛隊を参戦させるなどの動きが強まる中で、米軍も日本での災害援助などを、外交・軍事戦略上の目的に位置づけています。当日は1時間の訓練中、かなりの時間を割いて、記念撮影など防災訓練参加者との交流が行われており、防災訓練というよりは米軍の宣伝でした。

兵庫県と阪神の合同訓練にもかかわらず、兵庫県が一方的に米軍参加を要請し、阪神間の自治体にはほとんど説明がされていません。開催の1か月前でも西宮市の担当者は「情報が入らない」とこたえていました。

以上のことから、今後、防災訓練には米軍の参加はあってはならないと考えます。

### 質問

- ①米軍が参加した経緯について、兵庫県からどのような説明があったのか。今回の防災訓練について、市の担当者は「情報が入ってこない」と言っていました。準備を含め、どのような弊害が生じたか。
- ②米軍は地域防災計画上、どのように位置づけられているのか。災害発生時には、確実に救援に来るのか。
- ③今後の問題です。兵庫県には今後、合同防災訓練に参加要請はしないよう求めるべきではないか。西宮市の防災訓練についても参加要請はするべきではないと思いますが。

### 市当局答弁

- ①兵庫県は東日本大震災の教訓から、大規模災害から一人でも多くの人を救うため、より多くの関係機関との連携が大切であり、新たな機関として在日米軍も必要との説明を受けた。関係市町への事前の打診はなく、事実を知ったのは新聞報道が初めて。
- ②兵庫県、本市の地域防災計画上に在日米軍の位置づけはない。
- ③兵庫県の防災訓練に本市がコメントする立場にない。本市の防災訓練では、在日米軍の参加を想定していないので参加の必要はない。

### 解説

兵庫県と阪神7市1町の合同防災訓練でありながら、一方的に兵庫県が米軍に参加要請をしました。関係機関と言いながら、防災上の位置づけはなく、災害時に米軍の救援があるかどうか、全く不明確です。当日は訓練より記念撮影に時間を割き、米軍のパフォーマンスの場に。防災訓練ではブラックホークでしたが、和歌山県ではよく落ちるオスプレイが参加する予定になっており、命が危険にさらされる可能性があります。



米軍ヘリ（芦屋市海洋町 8月31日撮影）